

会 長 方 針

さあロータリアンとして行動を起こそう
“一人は皆の為に、皆は一人の為に”



会 長



幹 事

会 長 宮 崎 久 男
幹 事 豊 田 振 一

今日から又新しいロータリークラブの奉仕活動が始まろうとしています。この一年間（2001年～2002年度）が国際ロータリーRI会長 Richerd.D.King氏の究極とも感ぜられる“Mankindour Business”“人類が私達の仕事” このテーマの中に、生きとし生きるものとして、地域社会に対して謙虚で誠実な気持ちを抱きつつ、奉仕活動を求めていると思えます。

本当に役立つ援助。又未発掘の意欲的かつ行動力に満ちている事業、専門職務の指導者を会員として参加を求め、そして力強い永続的な会員の集合こそ、私達の活動の場としての“身近の地域社会へ……もっと広くグローバルな地域への“真実、公平、好意、友情”皆の為に私達をより一層、人道的な行動を充実、拡大出来るクラブの一年であって欲しいものです。

今年度、会員皆様がクラブ全体の委員長であり、理事であり、会長であって欲しい。会員個々に事情があるはずですが、“No”と言わずクラブ活性化の為に出席そして諸々の奉仕活動に参加して下さい。

暦年積み重ねられた私達のクラブの歴史の中に

- ① 人間性に満ちた心豊かな会員の維持、増強拡大
- ② 地域社会の必要に応じた積極的な行動
- ③ クラブ活性化の為にプログラムの設定
- ④ ロータリアンとして奉仕にいとわぬリーダーの育成

諸々の事象をより掘り下げ、自分達の身近なものとして、炉辺の機会w p増しつつ、楽しいロータリーライフの為に。

国際ロータリー、RI会長の数々の提言を第2750地区、加来ガバナーの数々の提言を再度読んで下さい。その内容をロータリー活動に充当させつつ“一人は皆の為に、皆は一人の為に”奉仕活動をして行きませか？

過去20世紀の経過の中で、国家の民族の紛争、人類文明の測り知れぬ膨張拡大、そして不幸な残滓とも言える、かけがえのない自然破壊、地球汚染、地雷、テロ、そして家庭崩壊。これらの諸問題をそのまま次世代に残して良いものでしょうか。今自分が持っている“幸せ”満足は何分の一かでも、貧者の一灯が否かに拘わる事なく、人間的幸せの為に奉仕活動に提供しませんか。

一年間、汗をかきつつのクラブ活動が地域社会への諸々意義ある奉仕になるのか、又結果的にそうでなかったか、私達は結果に抱泥する事なく、当クラブの初心と永遠のテーマ、“和と輪”をもっと大きく、深く、広く、今年度のテーマの中に融合させたいと思っております。

会員皆様のご協力のもと、共に楽しいロータリーライフをそして国境なき友人の為に。